



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2018年12月会報 第362号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Moon Sang-Bong(韓国)
主 題: Yes, we can change 「私達は変えられる」
スローガン 'Courage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之
主 題: 'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)
主 題: 「未来に残すべきものを守り育てる」
Let's Protect and Cultrivate What Should Be Pssed on to the Future.
副 題: 「めぐり逢う一筋の光」
Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部长 大田厚三郎 (神戸西)
「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長 青柳美知子
主 題: 「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！」

今月のテーマ: EMC-E(会員の獲得強化)
ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。
サウロは地に倒れ「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。
「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなた
が迫害しているイエスである」

使徒言行録 9:3~5

2018年12月クリスマス例会

日 時 : 2018年12月 19 日日(水)18:00
場 所 : 宝塚ホテル オーシェルの間
会 費 : 会員 3,100 円 会員以外 3,500 円
ドライバー 若林成幸 鯖尻佳子

第 1 部

開会点鐘 青柳美知子会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 杉谷和代
祈 禱 堀江裕一
ゴスペルで祝うクリスマス 山本真一郎氏

第 2 部

ゲスト・ビジター紹介 青柳美知子会長
食 事
各委員会・YMCA 報告
誕生日のお祝い
ニコニコファンド

閉会点鐘 青柳美知子会長

誕生日
おめでとう！

今田和子(24日)
谷川友子(15日)

11
月
実
績

例会出席者数 31 名
在籍会員数 25 名
出席会員数 24 名
出 席 率 100%
メイクアップ(内数) 1 名
メネット 1名
コメント・孫メット 0名、
ゲスト・ビジター 6名
例会充足率 125%

BFポイント 11月 4,941 円
累 計 21,387 円
にこにこBOX 11月 3,500 円
累 計 17,500 円
ファンド(物品販売) 円
累 計 35,550 円

会長のことば

最近、とみに年をとったな～と思わせられる。ペットボトルのフタが開けられない、テレビの音を大きくする、パッパッとこなしていた家事も緩慢になってきた。何よりいやなのは、夏に虫に刺されてかぶれた腕がしわっしわになっているのを見つけた時だ。何とも言えない寂しさにおそわれる。「仕方ない、すなおに受け止めよ」と自分に言い聞かせてみる。でも一方心の毎日はどうかと云うと年に似合わず、チャレンジにチャレンジを重ねている。あれだけストレスに思っていた会長職も皆さんに支えられ楽しくなってきた。チャレンジの喜びも味わえてきた気がする。

あの、有名なサムエル・ウルマンの「青春」と云う詩の中で「人から神からの美・希望・喜び・勇気・力の靈感を受ける限り君は若い」とあった。とりあえず、安心しようと思う。

青柳美知子

【今月の聖句随想】

辻 建

サウロ、のちのパウロが迫害者から身を転じた「回心物語」をあらためて読みました。回心とは文字通り、それまでの生き方を大きく転換させる体験を指しています。私たちの人生にはそうした体験がいくつか積み重なっています。私を圧倒するような存在が私の上におおい被さってきて私の中に入り込み大きく座を占めると言う体験です。YMCA やワイズの先輩たちとの出会いがそうでした。そして、それにも優る出会いがイエスとのあいだに起る。起り続ける。私はそれを味合いながら日々を過ごしています

11月第1例会報告

11 月第 1 例会は 11 月 14 日(水)18 時 30 分より宝塚ホテル東館 5 階ゴールドの間においてメンバーおよびゲスト・ビジターを含め 30 名が集い、ドライバー重松えみりワイズの司会により青柳美知子会長の開会点鐘で始められた。ワイズソング、聖書朗読、祈禱の後、晩餐に移り、美味しい料理とともに楽しい会話に花を咲かせた。

今回は「Member's Speech」のときとして今年 3 月の入会者 4 名のスピーチと YMCA のリーダー 3 名の報告があった。

初めに全国 YMCA リーダー研修会に参加した西宮リーダー会の河内勇人さんと震災・三宮リーダー会の越生寛子さんより、プロジェクターを使って研修会の様子や自分達が学んだこと、感じたこと等を発表され、このような機会を与えられ、また支援いただいたワイズメンズクラブへの感謝の気持ちを話された。

次にラオスワークキャンプに参加された西神戸リーダー会の合田奈央さんより動画や写真を交えてキャンプの様子が紹介され、「コミュニティ開発センターを作る」というワークを通じてラオス・タイのユースや現地の人々と言語を超えた心の触れ合いがあり、たくさんの素晴らしい経験を得ることができたと感謝の言葉があった。

続いて今年 3 月に入会された 4 名のメンバーのスピーチがありました。

今田和子メンは宝塚ワイズメンクラブのチャーターメンバーのメネットとして、長年にわたり活躍されてきたレジェ



ンドであり、新入会員というのも変なのですが、今回改めてメンとしての決意をのべられました。

福家清美メンは宝塚国際交流協会の役員をはじめ多方面でご活躍されており、中でも現在、70年の歴史をもつ神戸婦人有権者連盟会長としてより良い社会の実現を目指してご活躍されています。



服部拓磨メンは障害を乗り越え、現在は企業に就職されて、立派にご活躍されています。



服部拓磨メンのお父様の服部直樹メンは、若い頃に命にかかわるほどの事故に遭われたそうですが、無事に命永らえ、現在は拓磨メンの成長を喜んでおられるようです。



今月は久しぶりのメンバーの出席もあり、メイクア



ップ 1 名を含む会員出席率100%の例会となり、記念撮影をし、みな和気あいあいのうちにお開きとなりました。

小林康男

11月第2例会報告

11月21日(水)18時30分、11月第2例会が宝塚西公民館で行われ、青柳会長、小林、多胡、石田、福田宏子、鯖尻、武田、今田、吉田、加藤、長尾、若林各メンの12名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 今後の例会運営について

- ①クリスマス例会 12/19(水)、山本真一郎氏を迎え、ゴスペルの集いとし、プログラム詳細は11/27に先方と打合せする。チラシを500部印刷し集客に用いる。第2例会の日程を変更し12/12(水)西公民館にて行う。
- ②1月例会は六甲部長・交流主査による六甲部合同例会に合流し、クラブ単独の例会は行わない。合同例会 1/22(火)18時30分から、グリーンヒルホテル(三宮)、会費 4500 円。参加クラブは、宝塚・神戸学園都市・神戸西。クラブ毎にアトラクションを準備。交流のひとつとする。
- ③2月 TOF 例会は鯖尻メンを講師として、「いけばなのお話しと実技」とする。
- ④3月例会は、岡山大学名誉教授 篠田純男氏を迎え「南アジアの感染症と向合って」を学ぶ。

2. 市民クリスマス 12/14(金)について

予定していた関学生による寸劇は事情により中止し、従来パターンである「朗読と音楽によるクリスマス物語」として実施する。また、当日の役割分担は別記の通りとし無理のない範囲の協力をお願いする。

3. 次期クラブ会長の選出

青柳会長は、次期会長に多胡葉子メンを推挙、出席者全員が拍手で応えた。多胡次期会長は会員の更なる協力を呼びかけ、会長職を受諾。その他の人事は後日、次期会長を中心に検討される。

4. 第 23 回 NGO 活動展について

来年 3/2(土)・3(日)開催の活動展に関し、出展内容を協議。開催テーマ「あなたもできる国際協力」にちなみ、Y サ活動の一環として協力献金の対象とした「ラオス・ワークキャンプ」を取り上げ、写真展示を準備する。リレートーク〜アジアの現実と未来〜には不参加とする。

5. ブリテン 12 月号の編集

長尾メンの編集方針に基づいて寄稿分担と編集日程を確認した。原稿の締切りは 11/29。

6. 行事の振り返り

①ジャガイモ販売

仕入れた 310 箱を完売し、販売代金の全回収までも少し。詳細は別途報告。

②チャリティーラン

好天に恵まれたが、470 名程度の参加者であり収入も例年より低調となった。

③11 月例会は、久々に会員出席率 100%を達成。

(メイキャップ 1 名、広義会員 1 名を含む)
新入会員のトークに関心が集まり、全員参加の機運が醸し出され、貴重な体験談を通じ、共にある喜びを分かち合うことが出来た。

7. その他

①瀬戸山陰部の六甲部への加入問題は、白紙撤回されたが、その顛末に関し 11/26 報告会が行われる。石田、若林ワイズが出席する。

②(公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団は創立 30 周年記念事業として「障がい者のための絵本」を各市町へ寄付される。加藤メンを通じ宝塚市教育長を紹介し贈呈のサポートをする。

③はんしん自立の家の要請があり、綿花から糸を紡ぐ作業応援に多胡メンほか有志が応じる。

若林成幸

(別記) 市民クリスマスの役割分担

役割	担当者
全般管理	谷川、(舞台責任 若林)
会計	堀江、吉田
出演者世話	控室…福田素 弁当等…多胡・小林・福田宏

受付・募金・プレゼント	鯖尻・福田素・青柳・今田・杉谷 今西・服部拓・福家・学生たち
掲示物(壁面使用)	谷川
場内整理・案内	谷川・リーダー
ポップン世話	長尾
自立の家・車いす世話	武田・自立の家関係者
幼稚園児世話	岡野・幼稚園職員
写真・動画	川副
舞台出演者	若林、石田、吉田、多胡、長尾、福田宏、小林、風早

若林成幸

ゲストプロフィール



プロフィール

山本真一郎 (SHINICHIRO YAMAMOTO)

ゴスペルミニストリー S.C.A 代表

関西学院大学 総合政策学部卒

1996 年にゴスペルピアニストとしてデビュー後、ディレクター・シンガー・ピアニストとして多くの経験を積み、2003 年に「ゴスペルミニストリー S.C.A」を創立。以後、関西を拠点に全国各地で歌唱指導や公演活動を展開する他、プロデューサーとしてコンサート・各種セミナー・英会話クラス・インターネット TV 等の企画運営、またエンジニアとしてレコーディング・音響業務全般を手がける。正統なキリスト教理念に基づく「伝道と教育」をモットーとし、日本全国に GOSPEL をお届けするビジョンを持って日々歩んでいる。

第 21 回神戸 YMCA チャリティーラン

11 月 3 日(文化の日)「”LOVE ON RAN”あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます」の標語の下で、神戸市北区「しあわせの村運動広場」で秋晴れの青空の下、紅葉の木々に囲まれた運動場で様々なプログラムがくり広げられた。



参加ランナー数は昨年の558名を下回り480名、ボランティア数200名であった。当日は小学校の行事と重なり、新しいプログラムや開始時間の変更等が考慮、検討されたが、全体的に参加人数が減少したのは一抹の遺憾の念を感じた。



宝塚クラブは恒例の「ラーメン」「ぜんざい」を販売。どちらも好評の売れ行きであった。収入総額



¥1,157,276、支援金(収益金)は現在未定、ラッフル大会では我がクラブでは大賞を数名獲得できたのは幸いであった。また個人協賛でおおくの宝塚メンバーが協力下さったのは大きな喜びであった。

福田宏子

部会・他クラブ訪問

大阪ワイズメンズクラブ 90 周年記念例会

11 月 10 日(土)に開催された記念すべき大阪クラブの 90 周年記念例会に出席した。日本ワイズメンズクラブ 発祥の地である大阪 YMCA 会館の大ホールで開催された。日本最初のワイズメンズクラブはこの大阪クラブが 1928 年 11 月 10 日に国際協会から認証を受け始まり日本各地にワイズ運動が広がっていった。いただいた 90 年史を感慨深く読みながら式典に参加した。オープンセレモニーの素晴らしい歌唱力のあるソプラノ歌手の「アベマリア」から始まり第一部の式典には 6 人の来賓からの祝辞、第二部にはこの時もお二人のソプラノ歌手によるコンサートに聴き入った。第 3 部の懇親会では同じテーブルのメンバーとともに美味しいお弁当に舌鼓み、会話を楽しみ、映像で大阪クラブの 90 年の歩みを鑑賞。さすがに 90 年の歴史ある素晴らしい歩みの数々にその歴史の重みを感じた。第 4 部は講演会。京都大学の佐々木貴教助教による「系外惑星に第二の地球を探す」と題した興味深い講演に聞き入った。日本国内から約 150 人のワイズ関係者が集まった 90



周年の記念祝典に参加できたことは私にとってワイズの歴史を改めて理解し、そして現状のワイズ活動の問題などを考えさせられる機会ともなったように思う。今後の大阪ワイズメンズクラブの歩みの上に益々の良き働きをと願い会場を後にした。

多胡 葉子

IBC/DBC コーナー

11月18日(日)、東京町田市の公民館、町田フォーラムの一室で新しいワイズメンズクラブが誕生しました。名前は「東京町田スマイリングクラブ」です。

我がクラブとDBCを組む東京町田コスモスクラブが親クラブ、東京クラブ、厚木クラブがスポンサークラブ。準備協力クラブとして八王子、東京むかで、東京多摩みなみと云う沢山のクラブの皆さんの大変な熱意と努力で産声をあげられた事でした。そんな大きなお祝いの日に我がクラブの代表としてかけつけ、お喜びを共にしてきました。新クラブは11名のメンバーで女性2名、声楽家、福祉施設長、会社員、衆議院議員秘書、大学生等と会長は東京世田谷クラブからの移籍されたベテランで、よちよち歩きの新クラブの大きな担い手として大切な存在と思いました。



ワイズメンとして貴重な経験が出来た事を感謝と共に報告とします。

青柳美知子

YMCA だより



11月のチャリティーラン、ワイズの皆様には多大なご協力ありがとうございました。チームエントリーやワイズでの出店だけでなく、圧倒的な宝塚関係者からの個人協賛もいただき、ランナー、奉仕の方700名ほどが神戸しあわせの村で晴天の中素晴らしい一日を過ごすことができました。また障がいのある方々への支援も約120万円送ることができました。これらはまた来年の様々な活動に役立てさせていただきます。

冬もキャロルを歌う夕べを筆頭に様々な活動を行ってまいります。クリスマス喜びをぜひ世界中の方々にともに祝えるよう、国際協力募金も行っていますので、ぜひご協力ください。

1. シンポジウム「神戸と難民」

1940年、ナチスドイツを追われてたどり着いたユダヤ難民4千人が神戸に滞在し交流があったそうです。またベトナムからのボートピープルなど長田を中心に定住をされた方もいます。人権週間に合わせて、神戸と難民の人たちとのつながりについて下記の通りシンポジウムを行います。

日程:12月1日(土)14:00~16:00

場所:神戸YMCA三宮本館

参加費無料・事前申込制

詳細は

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/20181201.pdf>

2. わたしたちの難民問題

今年度より神戸YMCAではラオスワークキャンプを行い、皆さんにも支援協力依頼や開催報告をさせていただきましたが、兵庫県内ではベトナムに次いでラオス難民が多い状況があります。日本定

住の背景やコミュニティーの状況等を支援者の方よりお聞きする機会を設けました。

日 程:12 月 5 日(水)18:30-20:00

場 所:神戸市青少年会館 研修室(5 階)

参加費不要・要予約

詳細は

<https://www.kobeyymca.org/data/pdf/20181114.pdf>

日程:2019 年 1 月 26 日(土)9:30~11:30

場所:神戸YMCA三宮本館

参加費無料・定員 100 名

細は <https://www.kobeyymca.org/data/pdf/20190126.pdf>

3. 神戸YMCAベルクワイアーコンサート

12 月 24 日(月)の聖夜に神戸YMCAのベルクワイアーが神戸芸術センターでクリスマスコンサートを行います。ぜひ思い出深いクリスマスの夜をお過ごしください。詳細は

<https://www.kobeyymca.org/data/pdf/20181224.jpg>

4. 神戸ポートワイズメンズクラブ新春コンサート

神戸ポートクラブでは1月の第一例会に、余島リーダーOGである田中仁志さんをお招きし、コンサートを開催いたします。PPM(ピーター・ポール&マリー)をご存知の世代、またキャンプソングとして触れるリーダーもいらっしゃるのだと思います。

入場料無料ですので、ぜひ広く告知いただき、多くの方にご参加いただけますと幸いです。

日時:2019/1/10(木)午後7時~8時30分

場所:神戸 YMCA 三宮会館チャペル

出演:Piece of Forest

詳細は

<https://www.kobeyymca.org/data/pdf/20190110.pdf>

5. YMCA発達支援セミナー

神戸YMCAでは各所で発達障害支援プログラムや児童発達支援事業を行っています。年に数回は広く一般を対象にセミナーを行う中で、研修や啓発の機会を持っています。今回は関西国際大学の中尾繁樹先生をゲストにお迎えしての開催となります。

興味関心のある方に広くお伝えくださいますようお願いいたします。

2018/19

役 員	会 長 青柳美知子 副会長 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子 国際交流主査 武田壽子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子 EMC 杉谷和代 交 流・ファン ド 石田由美子 広 報(ブリテン) (HP) 長尾 亘
特別事 業委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 小林康男 バザー 長尾 亘 市民クリスマス 若林成幸